

小学校外国語教科化に向けての取組

北見市立高栄中学校 (外国語巡回指導教諭 矢木 美奈子)

I 実践テーマの趣旨

小学校において、2020年度から完全実施される新学習指導要領では、3・4年生で年間35時間の外国語活動、5・6年生では年間70時間の外国語科の授業時数が示されている。小学校で学級担任を受け持つ全ての先生方が中心となって外国語を指導することになるため、今後、全ての小学校の先生が自信を持って外国語の授業ができるようになることが求められる。そこで、次の2点を目指すこととした。

- ① 担任の先生方が1人で授業の計画を立て、授業することが出来る。
- ② 授業で関わる以外の先生方も授業について理解を深めることが出来る。

II 実践の内容

1 指導力の把握および授業パターンの確立

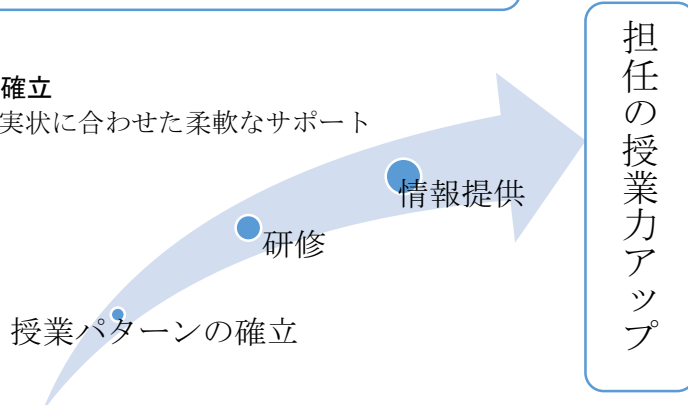
- (1) 個の経験や指導スタイル、学校の実状に合わせた柔軟なサポート
- (2) 授業パターンの確立

2 負担のない様々な形の外国語研修

- (1) ミニ研修
- (2) 朝のイングリッシュタイム
- (3) 校内研修への関わり

3 情報提供・教材の共有

- (1) 外国語通信の発行
- (2) 教材の共有

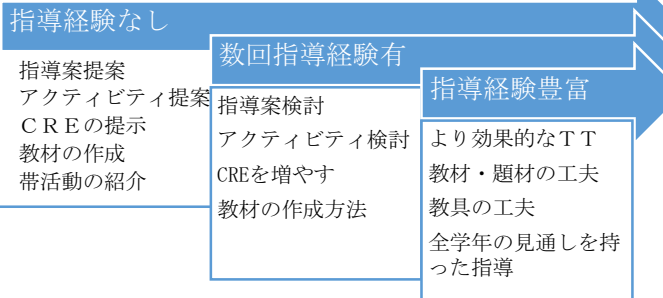


III 実践の概要

1 指導力の把握および授業パターンの確立

- (1) 個の経験や指導スタイル、学校の実状に応じた段階的なサポート

市内8校の3～6年生の先生方、36名と一緒に授業づくりを行なった。事前に外国語活動指導経験の有無等に関わるアンケートを取り、先生方の指導経験に応じて段階的に授業づくりに関わった。



- (2) 授業パターンの確立

45分の授業のアウトラインを提示し、授業パターンを確立することで児童が安心して参加でき、担任もT1として授業を自信を持って行えるようになった。特に評価に使用する共通の振り返りシート、授業の始まりの歌などは学年を超えて共通の取組ができた。



【帯活動の歌】



【振り返りシート】

(2) 本時の展開			
	児童の活動	教師の働きかけ	評価の観点
導入 3分	○英語で挨拶をする。 ○本時の目標を振り返りシートに記入する。	・英語で児童と挨拶する。 ・本時の目標を板書する。 夏休みの思い出を伝える機会に備えよう。	
展開1 8分	○夏休みの思い出を伝える表現を英語で言う。	○夏休みの思い出を伝える表現をピクチャーカードを使って確認する。 ・What's missing What's missing等	・夏休みの思い出を伝える表現を確認する。(イ)
展開2 15分	○Listening 担任の夏休みの思い出を聞き、本単元のゴールを確認する。	・夏休みの思い出について写真を使いながら英語で説明する。	・夏休みの思い出を伝える表現を確認する。(ア)

【アウトラインを元に担任が作成した指導案】

2 様々な形の研修

(1) ミニ研修

すべての学校において、ミニ研修を実施した。学校の要望に応じて、アクティビティ体験や、評価についての交流、指導案づくりなどを行なった。今年度外国語を指導していない先生方にも、授業についての知識を深めていただく良い機会となった。



【ミニ研修のパワーポイント資料】

(2) 朝のイングリッシュタイム

職員朝会の時間を活用し、朝のイングリッシュタイムを行なった。授業で使えるクラスルームイングリッシュを、ジェスチャーを使いながら全職員で練習したり、英語に関する〇×クイズを出題した。短い時間で継続して取り組むことで、先生方の負担なく、その日扱った内容を授業で生かしてもらうことができた。

(3) 校内研修への関わり

巡回指導日を各校の研修日にあてていただき、指導案の作成や反省に関わった。研究授業の指導案や教材作成に関わっては、学年部全体協議を重ね、先生方の個性やクラスの特徴に応じたよりよい外国語活動の在り方について意見を交流することができた。

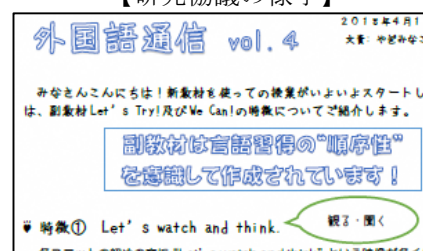


【研究協議の様子】

3 情報提供・教材の共有

(1) 外国語通信の発行

昨年度巡回をしていた8校を含む16校に向けて、“外国語通信”の発行を行なった。教科化に関わる情報、教材の準備のしかた、デジタル教材の使用法、各校担任の授業実践の特集などを紹介することで、打ち合わせだけでは共有しきれない情報を先生方に発信した。



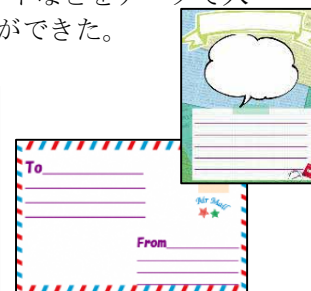
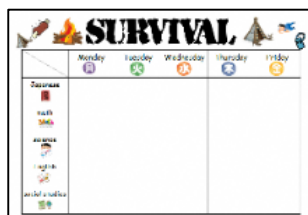
【外国語通信】

(2) 教材の共有

北見市教育委員会の協力も得て、全校共有フォルダの中に“外国語活動”のフォルダを作成した。全ての学年の年間指導計画、指導案、アクティビティのシートなどをデータで入れており、自主教材を多くの先生方と共有し、活用していただくことができた。



【板書用マグネット】



【アクティビティシート】

IV 実践の成果と課題

1 実践の成果

- 指導案のアウトラインや帯活動、振り返りシートを共有しながら授業を一緒に組み立てていく中で、担当が1人で授業ができるようサポートできた。また、研修の機会を生かし、今年度外国語の授業を担当されていない先生方へも授業の在り方を伝えていくことができた。

2 今後の課題

- 教科化後に向けて評価方法の整理、交流や、新しい教科書に準じた教材の開発・交流を今後も継続していく必要がある。またAL'Tの活用方法についても各校ばらつきがあるため、AL'Tを含む全教職員で共通理解を深める機会が必要である。